

1. 科目名 (単位数)	法学概論 (2 単位)	3. 科目番号	GELA1316
2. 授業担当教員	石崎 達也		
4. 授業形態	講義が中心となるが、講師からの一方通行ではなく、ディスカッション (学生からの講師への質問、学生間のディスカッション等) を伴ったものにする。	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>この講義は、憲法、民法、労働法等、各種の法に関する一般的な約束事や社会生活を送っていくために必要な基礎的な法の概略を学ぶものである。</p> <p>この講義では、法学をはじめ学ぶ学生を主たる対象に、法と社会、法の種類、法解釈等について学習するとともに、社会生活に関連する法律として、家族、財産に関する民法等の民事法の概略、犯罪に関する刑法等の刑事法の概略、労働法などの社会法の一部について学習する。この学習を通じて、法学的な思考法、いわゆるリーガルマインドを習得する。</p> <p>この講義は、法学を専門とするわけではない法学初学者を対象としています。学習範囲がかなり広いので、深く突っ込んだ議論を行うことは困難であるとともに、かなりのスピードで法律について学んで頂くことになり、また、事前・事後の学習をしっかりと行って頂く必要があります。また、比較的一方方向の講義になる可能性が高いことも留意して下さい。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法学的な思考法、いわゆるリーガルマインドを習得し、法学的に物事を考えることができるようになる。 2. 教科書のポイントを理解し、説明できるようになる。 3. 日々発生している日常的な法律問題について、条文や判例に基づいて問題を整理し、解決できるようになる。 4. 民法や行政法が規制する内容を理解し、法律問題が生じないように行動することができるようになる。 5. 公務員試験や各種国家試験の法律科目に対応できるようになる。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>【中間レポート課題】</p> <p>教科書 pp. 4～5, 7～8 を参照して、社会生活に法が必要な理由、法と道徳の違いを二つ説明しなさい。また教科書 pp. 23～24 を参照して、有権解釈と学理解釈について説明しなさい。(A4 用紙)</p> <p>【期末レポート課題】</p> <p>教科書 pp. 144～148 を参照して、交通事故での3つの責任について説明しなさい。また教科書 p. 154～155 を参照して、自転車走行時のルールと走行時に禁止されていることを書きなさい。(A4 用紙)</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 國友順市・畑雅弘編著『法学概論-身近な暮らしと法-』嵯峨野書院、2019。</p> <p>授業内でプリント配付する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法学一般の基礎知識を理解し、説明できたか。 ・条文や判例の読み方を修得したか。 ・採用試験で出題される問題に対応しうる知識を身に付けたか。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への参加度 (出席、発表、授業態度等) を 30%, レポート、小テスト、期末テストなどの結果を 70% とする。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>法学概論は、諸法令の基礎にある知識や考え方を習得する重要な科目である。予習、復習をして授業に臨むこと。また、憲法については、条文や判例を読んでその背景を判断するという難しい作業のほか、学生の皆さんが持っている価値観や人間観が問われるものであることを学んでいくこと。</p>		
13. オフィスアワー	<p>講義の中で通知するが、研究室在席中はいつでも受け付ける。</p>		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	<p>オリエンテーション (講義概要の説明)</p> <p>第1章 法って何だろう</p> <p>「1 法とは何か」「2 社会あるところに法あり」</p> <p>「3 法と道徳」「4 法源-成文法、不文法」</p> <p>(教科書 pp.1～15)</p>	事前学習	インターネットなどで社会秩序維持の理念を知る。
		事後学習	法と道徳の違いについてノートにまとめる。
第2回	<p>第1章 法って何だろう</p> <p>「2 法源-法の分類、国内法と国際法」</p> <p>「5 法の適応」「6 法の解釈」</p> <p>「7 裁判の仕組み」 (教科書 pp.16～28)</p>	事前学習	教科書で法の分類について調べる。
		事後学習	法の解釈方法についてノートにまとめる。
第3回	<p>第2章 人間らしく生きる権利の保障</p> <p>「1 基本的人権の保障」</p> <p>「2 自己決定権」</p> <p>「3 平等権」 (教科書 pp.29～42)</p>	事前学習	教科書で基本的人権の歴史について調べる。
		事後学習	自己決定権についてノートにまとめる。
第4回	<p>第2章 人間らしく生きる権利の保障</p> <p>「4 表現の自由」</p> <p>「5 宗教の自由と政教分離」</p> <p>「6 生存権」「7 参政権」 (教科書 pp.42～58)</p>	事前学習	教科書で表現の自由について調べる。
		事後学習	宗教と政教分離についてノートにまとめる。
第5回	<p>第3章 現代行政における国民の地位</p> <p>「1 行政法の世界」</p> <p>「2 許認可制度」</p> <p>「3 行政手続法」 (教科 pp.59～71)</p>	事前学習	教科書で六法と七法の違いを調べる。
		事後学習	行政手続、行政処分、行政指導についてノートにまとめる。

第6回	第3章 現代行政における国民の地位 「4 行政事件訴訟」 「5 国家賠償制度」 (教科書 pp.72～83)	事前学習	教科書で行政訴訟の意味を調べる。
		事後学習	国家賠償の二つの原因についてノートにまとめる。
第7回	第4章 すべては契約から 「1 契約の自由」「2 損害賠償」 「3 住まいと法律①—債権と物権」 「4 住まいと法律②—所有権」 「5 区分所有」 (教科書 pp.84～112)	事前学習	教科書で契約の自由について調べる。
		事後学習	債権・物権・所有権の違いをノートにまとめる。
第8回	第5章 いろいろな決済方法 「1 キャッシュカード・クレジットカード」 「2 保証債務の連帯保証」「3 身元保証」 「4 自己破産」 (教科書 pp.113～142)	事前学習	インターネット等で若者の決済方法の多い方法を調べる。
		事後学習	自己破産についてノートにまとめる。
第9回	第6章 日常生活のアクシデント 「1 交通事故」 「2 医療事故」 (教科書 pp.143～162)	事前学習	教科書で自動車事故の三つの責任について調べる。
		事後学習	医療契約の法的構成についてノートにまとめる。
第10回	第6章 日常生活のアクシデント 「3 製造物責任」 「4 悪徳商法」 (教科書 pp.163～180)	事前学習	教科書で悪徳商法の種類について調べる。
		事後学習	製造物責任法にいう「欠陥」についてノートにまとめる。
第11回	第7章 家族と法 「1 夫婦関係」「2 氏の決定」 「3 子の嫡出性」 (教科書 pp.181～199)	事前学習	教科書で結婚と婚姻の違いを調べる。
		事後学習	子の嫡出性についてノートにまとめる。
第12回	第7章 家族と法 「4 親権」 「5 相続」 (教科書 pp.199～211)	事前学習	インターネットで相続で発生している問題を調べる。
		事後学習	相続される財産の種類をノートにまとめる。
第13回	第8章 会社と法 「1 会社の所有」「2 取締役の義務」 「3 敵対的買収」「4 株主代表訴訟」 「5 社外取締役」 (教科書 pp.212～236)	事前学習	教科書で会社の種類を調べる。
		事後学習	会社は誰のためにあるのかについて自分の考えをノートにまとめる。
第14回	第9章 犯罪と刑事罰 「1 刑法は正義の味方？」 「2 悪い行為はいつから始まるの？」 「3 責任を取るとは？」 「4 被害者が殺されてもいいと言ったら？」 「5 だましたらぜんぶ詐欺？」 (教科書 pp.237～260)	事前学習	教科書で「助けないことは犯罪か」について自分の考えをノートにまとめる。
		事後学習	被害者の同意のある殺人について自分の考えをノートにまとめる。
第15回	第10章 労働・社会保障と法 「1 『働く』ということ」「2 労働条件」 「3 子育て支援」「4 労働契約終了」 「5 社会保障」 (教科書 pp.261～283)	事前学習	将来どんな仕事をしたいかと、そのしたい理由をノートにまとめる。
		事後学習	教科書の四つの労働条件をノートにまとめる。